

# 議事録

作成日:平成29年11月8日

会議名	平成29年度 第2回学校協議会		
開催日時	平成29年11月8日	作成者	山本、中島
出席者 (敬称略)	京都外国語大学教授 相川 真佐夫 高槻市立第二中学校長 北山 茂治 株式会社ベネッセコーポレーション 松原 良典 社会福祉法人照治会浦堂認定こども園副園長 濱崎 心子 芥川高等学校PTA会長 水野 忠夫  校長 河方智基 教頭 坂口光芳 事務長 原田一浩 首席 大西隆司、藤原啓明 進路指導主事 大島直子 事務局(記録) 中島智秀、山本大悟		

## 議事

### 1、校長挨拶

### 2、委員紹介

委員・事務局自己紹介

### 3、資料確認

### 4、協議

#### (1) 学校の様子 藤原首席より

「芥川新聞」241号～246号の内容について紹介

#### (2) 平成29年度学校教育自己診断について 藤原首席より

・生徒・保護者対象には12月中旬～下旬にかけてアンケートを実施予定。

・質問事項は昨年と同じ

・保護者に対してはメールマガジンで周知、インターネットでの回答もできるようにすることで回収率は年々増加している。(昨年度は約60%)

→次回協議会にて結果を報告。

(委員より) 中学校でも保護者にアンケートを行っているが、回収率は高い。結果は分析してフィードバックしている。

#### (3) 平成29年度学校経営計画にもとづく本校の取り組みの進捗状況 河方校長より

主要指標の進捗状況報告

・学力の向上

11月は授業力向上月間として教員間の授業観察を推奨するとともに初任者による模擬授業を行っている。今年度はさらに国語科指導教諭を招いた初任者による研究授業を実施予定。

・希望進路の実現

学校斡旋就職は今年度も希望者全員内定。

校内模試受検者昨年度より微増

大学入試センター試験出願者数昨年度より増加。

・使える英語力と国際感覚の育成

英検校内実施受検者数大幅増加。

オーストラリア語学研修の報告 など

・体験学習の充実、学校行事

新入生の部活動加入率はほぼ昨年度並みであるが、男子の加入率は90%超。

部員30名を超えた吹奏楽部が初出場の地区コンクールで入賞。

文化祭来場者数が昨年度より300名増。

・規範意識の醸成

1学期遅刻者数が全学年で昨年度より大幅減少。

・人権意識の向上

自傷行為についての職員研修 など

・教員力の向上

次世代教員自主研修として10年目研修を終えた教員による講演の実施

・情報発信力の向上

メールマガジン登録者数の増加(全校保護者の90%超)

合同説明会、学校説明会盛況

(委員より質問)

Q 遅刻数の減少が素晴らしい。今年度何か特別な取り組みをしたのか。

A 今年度特に新たな取り組みをしたわけではないが、説諭ではなく生活態度を振り返らせる細かな指導を全学年で統一的に行っている。

(委員より意見)

・多くの中学生が目標とする魅力ある学校になっていると思う。

・他府県で教壇に立っている卒業生も芥川高校で充実した高校生活をおくったと話していた。

・子ども園に実習に来て入れる生徒から園の子どもたちも学ぶことがあるようだ。

・今年の修学旅行はなぜ台湾でないのかという声も多かったようだが行ったみたら現地の方との交流などをとても楽しんだようだ。

(4) 進路指導部より 大島進路指導主事より

現3年生の進路状況、進路指導の取り組みなど

国際関係、保育・幼児教育の希望者が多い。

奨学金利用者多い、入学金等についての相談も増えている。

昨年度の3年生はスタートダッシュが良かったが、後半伸び悩む生徒が多く、浪人が増えた。

(5) 平成30年度使用教科書採択報告 坂口教頭より

選定理由書を提示して、選定の観点を説明し、了承を得た。

(6) その他

保護者からの意見書の提出はなかった。

次回について、

次回は平成30年1月下旬～2月上旬に開催予定

【予定議題】

・平成29年度学校経営計画にもとづく取り組みの学校による達成状況および自己評価

・平成29年度学校教育自己診断結果報告

・平成29年度授業アンケート報告

・平成30年度学校経営計画案 など